

芝技能訓練センター 校長 尾川 勇氏
が「技術革新に対応する産業人の使命」と題して講演され、近年における産業構造の変化と先端技術の進歩に即応する産業教育の進むべきみちを印象深く話されるなど、感銘深いものであった。

一、沿革

平成業教育振興中央会の呼

福島県産業教育振興会の概略

44

(1) 水高然

二、県高教研各部会の記念行事
昭和五十九年度を産業教育百年の年とし、年間にわたり各部会で画的に次にあげる記念行事をもつて、農業部会

(二) 農業クラブ意見・研究發表大会
(3) 農業クラブ技術競技会

2) (1) 論文・作文募集

(3) (2) 計算技術競技大会

(4) 部会シンボルマーク募集

(三) 商業部会

(2) (1)
簿記二級

(3) 英語スピーチコンクール

(四) 家庭部会

(2) (1) 生徒研究発表力会

(五) 水産部会

二、現況

二、現況
会員は事業所八百二十、学校五十四年間約六百八十万円の予算規模で、教員の研修補助・生徒研究助成・優秀生徒選奨、会報発行等を行つてゐる。

75

八百二十、学校五十四
万円の予算規模で、教
生徒研究助成、優秀生
行等を行つてゐる。

聚所

八百三十、學校五十四

• +

八百二十、学校五十四
万円の予算規模で、教
生徒研究助成、優秀生

一
発

八百二十、学校五十四
万円の予算規模で、教
生徒研究助成、優秀生
行等を行つてゐる。

八百二十、学校五十四
万円の予算規模で、教
生徒研究助成、優秀生
行等を行つてゐる。

八百二十、学校五十四
万円の予算規模で、教
生徒研究助成、優秀生
行等を行つてゐる。

八百二十、学校五十四
万円の予算規模で、教
生徒研究助成、優秀生
行等を行つてゐる。